

コード	30302
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	高齢者社会を支える環境づくり
--------	----------------

総合計画の位置付け	
政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実
施策名称	お年寄りの元気を支える体制づくり

課コード	110	関係課名
主管課名	福祉長寿課	

基本事業の目的

生活支援ハウス、福祉センター等の効率的な運営を図り高齢者が安心して生活できる環境づくりや、在宅健康管理システム、IP電話の活用できる環境づくりを目指すとともに福祉体制を担う人材育成を目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	軽度生活支援事業	成果指標名称 2	軽度生活支援事業費
成果指標の積算根拠	実績値/目標値(各年度実績数)	成果指標の積算根拠	実績値/目標値(各年度実績値)
目標達成年度	単年度	目標達成年度	単年度
目標達成数値	40人	目標達成数値	1,137,750円

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	人	39.0	32.0	33.0	40.0	
	実績 B	人	39.0	32.0	33.0	40.0	
	達成率 B/A	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標2	目標 A	単位	円	1,359,750.0	1,530,750.0	1,332,750.0	1,137,750.0
	実績 B	単位	円	1,359,750.0	1,530,750.0	1,332,750.0	1,137,750.0
	達成率 B/A	%	100.0	100.0	100.0	100.0	

1次評価	現状	年間30～40人の一人暮らし高齢者の軽度生活支援として、週1回、1回あたり2時間を限度として援助を行っている。
	課題	軽度生活支援事業利用決定後、利用期間や利用決定基準等の見直しが必要である。
	改善	利用決定基準の明確化、利用期間の厳格な運用を図る。
2次評価	1人暮らしの在宅高齢者が安心して暮らしていけるまちづくり、環境づくりを目指すとともに地域の密接な連携が必要。今後も軽度生活支援事業のみならず充実した福祉環境整備を図っていくこと。	
住民等の意見		
町の対応		

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。